

地域産業の担い手育成プロジェクト（農業分野） 平成20～22年度

自分の夢と地域の未来の実現に向けた人材育成

- ①若者の定住と、島根の農業・農村を支えていくことのできる人
- ②島根や郷土を愛し、郷土を誇れる人
- ③地域の特徴を生かした生産活動を展開できるような起業家精神を備えた人
- ④地域との連携を図り、新しい発想でものごとに挑戦していけるための実践力を備えた人

島根県

事業実施機関・・・島根県教育委員会、財団法人しまね農業振興公社
 連携省庁・・・農林水産省
 取組校・・・島根県立松江農林高等学校、島根県立出雲農林高等学校

事業目標

高齢化率が全国一高い島根県においては、農業・農村の担い手の育成確保は、重要かつ緊急の課題である。本事業では、島根県東部にある出雲圏域において、農林高校と農業者、各農業関係団体、教育委員会、自治体の連携により、今後の農村地域を支えていくために必要な能力を育成するために多様な人材育成プログラムを開発し、農業分野における将来のスペシャリストの育成を目指した取組を実施する。

事業の概要

農業各分野において、技術・経営を支える人材の育成、地域を支える優秀な人材確保、地域から望まれる人材の育成を、関係機関と連携を取りながら実践し、担い手育成モデルを構築する。

3年間の高校生活の中で、「関心・意欲の醸成」「実践的な技術習得」「実践的な経営習得」に関する取組を計画的、組織的に実施し、地域産業の振興・発展に自ら貢献しようとする人材の育成を目指す。

事業内容と成果

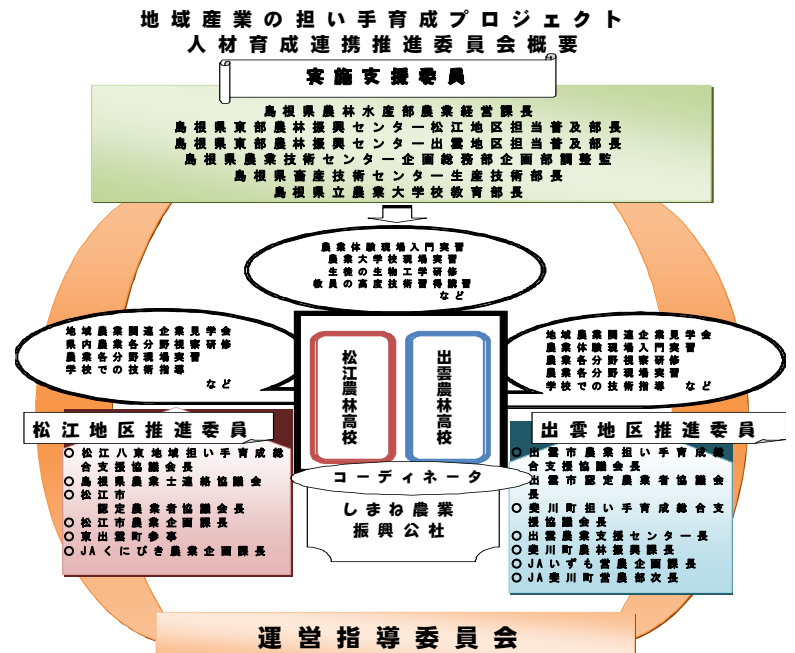
《生徒の現場実習》

- 内容
 - ①インターンシップ

松江農林高校、出雲農林高校とも2年生全員が希望する農家等で5日間のインターンシップを行った。インターンシップ先は人材育成コーディネータが中心となり、協力農家の掘り起こし、実習内容等の検討等を行い、効果があがるように配慮した。
 - ②県内外先進地留学研修

両校の2・3年生希望者（松江農林9名、出雲農林11名）が、県内外の先進農家で7月～8月に2～3週間の農家研修を行った。
 - ③出前チャレンジショップ

両校の3年生を中心に行商隊を組織し、マーケティングや農業経営に必要な能力と態度を育成することを目的に、自校で生産した農畜産物の販売を東京にほんばし島根館等で行った。
- 成果
 - ①インターンシップでは協力経営体が増え、受入リストを作成した。
 - ②インターンシップでの受入先と生徒とのミスマッチを解消するため、受入経営体の経営理念や経営作目を記入した生徒作成によるプロフィールを作成し、整備した。これらの取組により目標を明確に設定することや、言語に関する能力や、意欲が向上した。
 - ③農業の6次産業化にむけ、農業のおもしろさや、就農に当たっての自信や意欲につながるチャレンジショップは、生徒の起業家精神の育成につながった。



《技術者等による学校での実践的指導》

●内容 ①ラッピング講習会

松江農林高校では、農産物等の販売活動に必要なラッピングの基本について、2名の講師を招き実践的な指導を受けた。

②農業講話

松江農林高校では、県外講師から有機農業についての取組の指導を受け、循環型農業の重要性と実際例について学んだ。

③食肉加工技術研修

松江農林高校では、見学研修で学習した内容を深め、より実践的な食肉加工技術の習得をめざして、4名の講師により実践的な指導を受けた。

④和菓子実習

出雲農林高校では、地域の技術者を招き、食とくらしを支える仕事の特性を理解させるために実施した。

●成果 ①地域産業や地域の特産品の理解ができ、生徒の専門的な知識・技能の習得への意欲につながり、進路意識の向上に高い効果がみられた。

②特に、活躍している卒業生を講師として招くことが生徒にとってはよい刺激となる。



《教員の高度技術習得研修》

●内容 ①バイオ研修

松江農林高校では、遺伝子組換え植物の作出における基礎技術と現状、遺伝子組換え実験などを、農業・食品産業技術総合研究機構や農業生物資源研究所等から協力をえて実施した。

●成果 ①高度新技術を実際に体験することで、教員の理解や技能が深まり、指導力が向上した。



《共同研究・その他の取組》

●内容 ①食育体験事業

出雲農林高校では、幼児とその保護者の食への興味・関心を育てることを目的に生徒が講師となることで、生徒の栽培技能の向上とコミュニケーション能力の育成を図る取組を行った。

②農業大学校との連携及び出前授業

農業の担い手育成において、農業高校と農業大学校との連携強化は、有効な方策である。そこで、意見交換会や農業大学校からの出前授業を実施した。

③国内農業各分野起業視察研修

出雲農林高校では、生徒の関心・意欲の醸成や、実践的な技術・技能の習得を目的として、2年生を対象に2泊3日で、中国地方・関西地方の先進的な農業や農業関連産業の視察を行った。

④研究成果発表会

両校とも研修や研究成果の発表会を設け、全校生徒による発表会を行った。この発表会にあわせ、農業大学校や県農業関係機関の活動報告も行い連携の強化を図り、農業の担い手確保の一助とした。

●成果 ①共同・連携した取組をとおして、専門的な知識や技能を習得でき、農業・農村の課題や課題解決に向けた実践を行うことができる。また、多くの企業や地域の人材が係わることにより、コミュニケーション能力の向上にもつながった。

②県外の農家や農業関連企業等を視察することにより、県内の課題や良さを再認識でき、地域や職業に対する理解につながった。

③発表会についてはこれに係る一連の取組は外部からの評価が高く、生徒の言語活動の充実や思考力・判断力・表現力等の育成につながった。



連絡先

◇島根県教育委員会高校教育課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

TEL : 0852-22-5412 FAX : 0852-22-5762 URL : koukou@pref.shimane.lg.jp

◇財団法人しまね農業振興公社

〒690-0888 島根県松江市北堀町15番地

TEL : 0852-20-2871 FAX : 0852-31-9864 URL : kousha@agri-shimane.or.jp